お知らせ

公益財団法人日本環境協会　エコマーク事務局
2025 年 12 月 15 日

日本エコマーク、台湾環境省及び環境発展財団と「環境ラベルの相互認証推進に関する覚書」を締結

「エコマーク」を運営する公益財団法人日本環境協会は、「グリーンマーク」のスキームオーナーである台湾環境部及び運営機関である環境発展財団（EDF）の間で、「環境ラベルの相互認証推進に関する覚書」を締結し、2025 年 12 月 10 日（水）、日本環境協会にて調印式を執り行いました。

台湾グリーンマークとの相互認証については、2004 年に基本合意書を締結して以降、具体的な運用方法や共通基準の設定方法等について、台湾環境発展財団と検討を続けてまいりました。その間、互いの制度を尊重しつつ、真に実効性のある連携とするため、認証業務のあり方や基準の設定など、今日に至るまで双方で丁寧な対話を積み重ねてきました。こうした経緯を経て、本年 9 月には両国間の課題や事業者の懸案事項などを改めて共有し、まずは画像機器を対象品目として協議を進めることで合意いたしました。この合意に基づき、今回、相互認証に資する協力に関する覚書を締結する運びとなりました。

本覚書では、画像機器及び情報機器を対象品目として設定し、以下の取り組みを行うこととしております。

1. 共通基準項目及び認証方法を共同で検討・策定すること
2. 対象品目における技術・製品仕様に関する情報、及び認証方法等に関する知見交換を実施すること
3. 上記に資する相互認証について議論するための協議を定期的に開催すること

今後は、画像機器の共通基準設定に向けて、具体的な協議を進めてまいります。

[参考情報]

エコマーク

- ISO14024 に準拠する我が国唯一のタイプⅠ環境ラベル。公益財団法人日本環境協会が自主的な財源に基づき 1989 年から運営。
- ライフサイクル全体を考慮して環境保全に資する商品を公益財団法人日本環境協会が認定する第三者認定の環境ラベル制度。
- 2025 年 12 月時点で、78 の商品カテゴリに認定基準が設定され、1,478 社に対し、56,343 商品が認定されている。

グリーンマーク

- ISO14024 に準拠する台湾のタイプⅠ環境ラベル。台湾環境部の委託を受け環境発展財団（EDF）が運営している。
- 2025 年 12 月時点で、125 の商品カテゴリに認定基準が設定され、610 社に対し 5,195 製品・サービスが認定されている。
- 国等へは環境配慮型商品の調達が強く求められており、グリーンマーク認定製品の調達が求められている。

*タイプⅠ環境ラベル制度について
国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプⅠ環境ラベル制度」に基づく認定制度。特定の製品カテゴリの中で、製品のライフサイクル全体を考慮し、包括的な環境優位性を示すラベルの商品表示ライセンスを、自主的な複数の基準に基づき授与する第三者制度。

＜本件に関するお問い合わせ＞
公益財団法人日本環境協会　エコマーク事務局　事業推進課
TEL：03-5829-6286　　E-mail: info@ecomark.jp